

2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



2.2

5歳未満の子供の発育障害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。

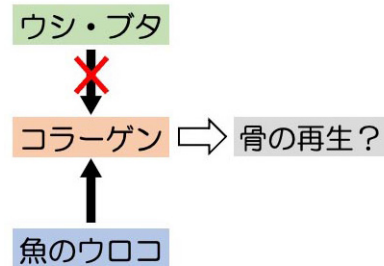
3.8

全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成する。

魚ウロコ由来材料による顎骨再生の研究で 安全で安価な骨再生材料の開発を目指す

魚類の鱗から精製されたウロココラーゲンが、骨増生や骨形成に有用かを検証し、再生医療への活用を目指した研究を行っています。従来のウシ・ブタ由来コラーゲンは人獣共通感染症の危険を払拭できないため、これに代わる生体足場材料として、ウロココラーゲンは臨床での応用が期待できると考えます。

歯の喪失に伴う顎骨吸収の回復に用いる材料について研究することで、高齢者の咀嚼機能を回復し、栄養ニーズへの対応を検討しています。哺乳類ではなく魚類由来の材料を用いることで、安全で安価な材料を用いた骨再生材料の開発に貢献できたらと考えています。



message

省エネ（こまめな節電など）、資源のリサイクル、ごみの減量化など身近なところから SDGs 推進に貢献できたらと思います。

戸田 伊紀

歯学部

解剖学講座